

表郷地区農業体験ツアー①

都市と農村の交流事業をととして、福島県の農業の現状や本県の良さを知っていただき、地域農業を応援してもらおうと、平成 24 年 8 月 25 日(土)～8 月 26 日(日)、白河市表郷地区で農業体験モニターツアーを実施しました。

首都圏からの参加者が大根の種まき、白菜の定植、ネギの手入れ作業を行いました。

ネギの手入れ作業では、肥料まきと土寄せ作業を行いました。ネギの白い部分は、成長に合わせて土をかぶせる必要があります、出荷するまでに 5～6 回の作業が必要との説明を受け、驚いている様子も見られました。



白菜の定植の様子



ねぎの土寄せ作業の様子

翌日は2箇所の農産物直売所をまわり、東地区のふれあいの里では、代表の方より原発事故以降の安全な農産物を届ける取組について、お話しをいただきました。



ツアー参加者の皆さん

農産物直売所ふれあいの里訪問

11月には、今回植えた白菜・大根の収穫と、その作物を使った加工作業を行う、第2回モニターツアーを計画しています。